

平成29年度VUV・SX高輝度光源利用者懇談会 総会議事録（案）

1. 日時：平成30年1月9日（火）11：10～12：10
2. 会場：つくば国際会議場 C会場（中会議室406）
3. 出席者：38名（委任状は42通で総会は成立（会員445名））
4. 報告・議事
 - 1) 議長に奥田太一氏（広島大）を選出した。
 - 2) 木村昭夫会長（広島大）より、平成29年度の活動報告（平成28年度総会以降）が行われた。
 - ・会員動向
会員：446名 → 445名
賛助会員：8社 → 8社
 - ・ISSPワークショップ開催（平成29年3月8日（火）、東大物性研）
「SPring-8 BL07LSUが照らした物質機能の起源」
 - ・ISSPワークショップ開催予定（平成30年3月13日（火）、東大物性研）
「SPring-8 BL07LSUの現状と次世代軟X線科学創成への戦略」
 - 3) 小嗣真人編集委員長（東京理科大）より、NewsLetter発行作業の現状について報告が行われた。昨年度よりWeb版へ移行し、今年度の発行準備をほぼ完了している。
 - 4) 雨宮健太会計委員長（KEK）より、平成29年度の会計報告（中間報告）が行われた。
 - 5) 有馬孝尚東京大学放射光分野融合国際卓越拠点機構長より、拠点の現状に関して報告が行われた。今年度東大アウトステーションが専用施設設置に関する契約10年目を迎えるため、再契約申請を行う予定である。
 - 6) 原田慈久物性研究所播磨分室准教授より、ビームラインの現状及びSPring-8共同利用状況が報告された。
 - ・共同利用実験課題申請状況
 - ・論文発表状況
 - 7) 木下豊彦氏（JASRI）より、「ヨーロッパ高輝度光源の現状」という題目でヨーロッパの放射光施設の現状及びアップグレード計画の紹介が行われた。
 - 8) 全体討論
 - ・SPring-8のアップグレード計画における専用BLの在り方をふまえて、東大アウトステーション将来計画を戦略的に考える必要があるとの意見があった。
 - ・次世代放射光施設で行うべき最先端計測、及び官民地域パートナーシップとの両立について議論が行われた。

（議事録：事務局）